

第2回 MCR 学級 「防災」に関する講座

1 目的

- ・災害発生時にどう対処したら良いか。また日ごろからできる備えについて考える。
- ・MCR 学級生の学びの場を広げる一助とする。

2 日時・会場 ・参加人数

9月5日(金)10:00～12:00 松戸市民会館 301会議室
参加人数 19 名(MCR 学級生、小学校家庭教育学級生)

3 内容

- (1) 開会 主催者挨拶 社会教育課 関根課長
- (2) 講演会

演題「助け合いが地域を救う～災害ボランティアの現場から～」

講師 松戸市社会福祉協議会

渡邊 高志氏 大坪万剛氏、山下陽祐氏

- (3) 質疑応答 11:40～11:50

- (4) 閉会

4 概要

台風の影響で、子どもたちが早帰りになるという連絡が多く、多くの学校から入ったり、市民会館も松戸市の「避難所開設」となったりするなど、天候の悪い状況での開催となってしまいました。

社会福祉協議会は地域の福祉を支えるために活動している法人です。住民一人一人が安心して暮らせる街づくりを目指し高齢者や障がい者、子育て家庭など様々な人々の支援を行っているというお話がありました。

さらに、災害が起きた時には被災者の支援や復旧活動に積極的に取り組む様子が紹介されました。特に災害ボランティアのコーディネートを行い地域の助け合いや支え合いを促進する役目も担っているとの説明があり、実際に現地で活動した様子をお話ししていただきました。災害ボランティアの参加方法についても丁寧な説明がありました。

また、参加者には、福祉協議会の方から提供された、様々な防災食をお配りし、各家庭で試食してもらうこととしました。

最後に、富士山が噴火した時の火山灰により、停電になったり、水もダメになったりする可能性が高いこと、「災害時帰宅ステーション」などについてのお話があり、様々な視点で、さらに防災について考える機会としていただきました。

5 参加者の主な感想

- ・社会福祉協議会や災害ボランティアセンターについてかなり詳しく教えていただき貴重な機会だったなと思いました。この仕組みの中で自分が関われるとしたらどこなんだろうとも思いました。
- ・災害ボランティアについてはニュースなどで聞いたことはあったけど、実際にどのような手順で行われているのかがわかってよかったです。映像で見せていただいたのがとても分かりやすくイメージしやすかったです。
- ・防災に対しての意識が変わった。
- ・ボランティア＝体力のイメージがあったが、できることもあると知った。
- ・もっと「災害へどう備えたらよいか」という話が多いとよかった。

